〒905-0011 名護市字宮里 447-20 丸平第 2 アパート 102 号 TEL0980-54-8555 FAX0980-54-8556 Eメール nago.kyodoc@bird.ocn.ne.jp
郵便振込口座記号番号 01710-0-166221 加入者名・新基地建設反対名護共同センター
2017.12.5 (火) 第 156 号

新基地建設反対名護共同センターニュース

“非暴力のたたかいに自信と誇り”
「オール沖縄」に国際平和賞に歓声上がる

「欠陥機オスプレイ墜落から１年、抗議集会」
怒りをたたかいの力に、こぞって参加を！
１２月１５日（金）午後６時３０分～
名護市・２１世紀の森屋内運動場

渡久地県議「国際平和賞」受賞を紹介

渡久地氏は「ノーベル賞を受賞した平和団体・国際平和ビューローから国際的に権威のあるショーン・マクブライド平和賞が“オール沖縄”に対して授与された、自信と誇りを持って頑張ろう」と訴えました（写真）。テント内は大きな喜びの拍手が鳴り響き、たたかいへの確信、誇りを共有し、深い感動に包まれました。

ゲート前大行動に１２００人

第１土曜日の２日、１２００人の県民がゲート前に結集しました。稲嶺ススム市長が「勝つまであきらめなければ、辺野古は止められる。市長選を必ず勝ち抜き、翁長知事を強く支え行く」と決意表明しました。照屋寛徳、玉城デニー衆院議員、共産党の渡久地修県議などが連帯挨拶しました。

「障がい者12・7辺野古のつどい」近づく
共同代表がゲート前で参加・協力を訴え

第3種郵便物認可 【月ぎめ購読料3,075円（本体2,848円＋消費税227円）】 王流 球 新

辺野古 強行の現場から

新基地反対、思い共有

辺野古 7日、障がい者の集い

【辺野古問題取材班】「もしも戦争が起きたら、真っ先に厄介者扱いされるのは障がい者だ」―。障がい者の立場で名護市辺野古への新基地建設反対を訴えようと30年以上、車椅子生活を送る成田正雄さん(64)らが中心となって、「障がい者・辺野古のつどい」（実行委員会主催）を7日、名護市辺野古の米軍キャンプ・シュワブゲート前で開く。成田さんは「基地建設反対への思いは私たちも皆と一緒か、それ以上だ。障がい者同士で集まって声を上げたい」と語り、健常者を含め多くの人の参加を呼び掛けている。

名護市瀬嵩で民宿を営む成田さんは戦争につながる基地建設に反対する抗議活動に車椅子で参加している。目の前で着々と進む辺野古海上の工事を目の当たりにする中で「有事に困が私たち障がい者を守ってくれる保証はない」と危機感を募らせている。

数年前、体調を崩して入院。病室でゲート前の様子をニュース映像などで目にし「現場で抗議をしている人たちと感情を共有したい」とほぞをかむ思いをした。「行きたくて涙が出た。同じ気持ちを抱えて黙っている人もたくさんいる」。抗議運動への参加が困難な障がいを抱える人たちの届かない声を響かせる場所を作ろうと今回、集いを企画した。

成田さんは障がい者の抗議活動参加について「私たちが現場に行くのは大変で、周囲の人たちにも気を遣わなければならない」と複雑な表情を浮かべる。集いは賛同者の支援を得て開催する。「平和への意思を共有したい。健常者の方々の支援ももらいながら、ぜひイベントを成功させたい」と語気を強めた。

集いは午前11時～午後1時まで。県外からの参加者も含めたリレートークなどを行う予定。問い合わせは12・7障がい者辺野古のつどい実行委員会の田丸事務局長☎080（6498）0414。

7日に開催される「障がい者・辺野古のつどい」への参加を呼び掛ける成田正雄さん（左）ら＝2日午後、名護市辺野古

拳を突き上げて基地建設反対の意思を護市長（中央）と県民大行動の参加市辺野古のキャンプ・シュワブゲート

左から成田、門屋、渡嘉敷各共同代表

平和でなければ障がい者は生きていけない

基地闘争初の「障がい者中心の抗議行動」が１２月７日にゲート前で行われます。

２日午後、実行委員会の成田正雄、門屋和子、渡嘉敷綏秀の共同代表３人が辺野古テント村で「つどい」の趣旨や思いを訴え、健常者も含めての参加と協力を訴えました。琉球新報は３日付紙面で大きく報道しました（左参照）

［１２・７障がい者の辺野古のつどい］

日　時・１２月７日　１１時～１３時
場　所・辺野古ゲート前テント村
内　容・リレートーク　文化行事
主　催・同集会実行委員会
連絡先・田村正幸事務局長
TEL０８０-６４９８-０４１４